

# おごせ 教育 Pick Up



## 越生小学校 梅園小学校

9月12日、13日に町が進める小小連携事業の一環で越生小学校・梅園小学校の5年生が合同で宿泊学習に行ってきました。場所は小川げんきプラザです。

1日目、雨の中のウォークラリーでしたが、徐々に回復しました。一番の盛り上がりは夜のキャンプファイヤーです。両校の児童が協力して運営にあたり、ゲーム、ダンスとも汗一杯になって楽しみ、親睦が大いに深まりました。

2日目は快晴、カレー作りです。具材の準備や、火起こしなど全員で協力して取り組みました。味も格別で、おいしく食べました。

お互いに「中学で一緒になるのが楽しみ」と喜んでいました。



## 越生中学校

9月2日、光耀祭体験学習が行われました。当日は囲碁、将棋や着物の着付け教室など17講座を、町内の方を中心に45人に指導していただきました。どの講座も楽しく、また真剣に取り組み、有意義な時間となりました。



### おごせっ子広場

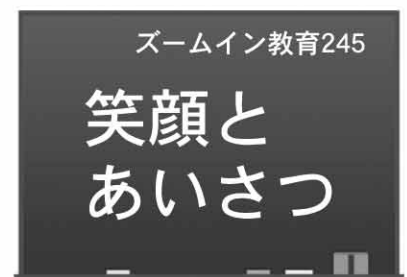
町内の小中学校や町の行事等に参加する子どもたちを写真で紹介するコーナーです。

「笑顔とあいさつ」を合言葉に、越生保育園の一日は始まります。園児たちの意欲的な活動の中から笑顔がいつぱいの保育園を目指しています。

### 越生保育園運動会

10月14日は、越生保育園の運動会です。今、保育園の子どもたちは運動会に向けて練習を頑張っています。越生保育園の運動会は、5歳児・4歳児・3歳児が中心となり、日常の保育の中で培われた体育あそびや表現を発表する場でもあります。

3歳児は主役となって初めての運動会。4歳児は前年度の経験を活かし、ちよつぷり自信が出てきた運動会。5歳児は保育園生活の集大成の運動会です。昨年の組体操は5歳児ならではの演技で、保護



越生保育園

者も職員も涙が出るほど感動するものに仕上がりました。今年はどうなる感動があるか楽しみです。



また、3歳児〜5歳児の園児が縦割り4チームに分かれて行うチーム対抗の競技は、競技する側・応援する側も力が入り、とても盛り上がりま

す。保護者競技も園児と同じチームに分かれ順位を競う大切な競技です。毎年熱い火花を散らせた保護者参加型の運動会となっています。

0歳児〜2歳児の可愛い園児と保育園に遊びに来てくれたお友達の遊戯やかけっこもあり

ぜひ、越生保育園の運動会に遊びに来てください。



# 越生浪漫

No.105

渋沢平九郎をめぐって  
その4

渋沢栄一は、二度、平九郎の弔いに越生を訪れています。  
 (※以下、「渋沢栄一伝記資料」)  
 (明治32年)六月廿四日 曇  
 此日八會テ尾高惇忠ト約シテ  
 入間郡黒山村二平九郎戦役ノ  
 跡ヲ訪フ筈ナリシヲ以テ、朝  
 来病モ稍癒タレハ、旅装ヲ理  
 シ、午前八時飯田町ニ抵リ、  
 甲武鉄道線ニ搭シテ九時国分  
 寺ニ抵リテ休憩ス、十一時三  
 十分同所ヨリ川越鉄道線ニ搭  
 シ、十二時入間川駅ニ抵リテ  
 午餐シ、夫ヨリ腕車(※人力車)  
 ヲ僦フテ一里、黒須ニテ繁田  
 武兵衛ノ宅ヲ訪フ、更ニ車ヲ  
 馳テ二里、飯能町ニ抵リ能仁  
 寺ニ詣ス、寺ハ維新ノ年五月  
 振武軍ノ屯在スル所ナリ、当  
 時ノ兵火ニ罹リテ堂宇・伽藍  
 焼滅シ、僅ニ仮設ノ本堂アル  
 ノミ、午後三時過飯能町ニ抵

リ、茶店ニ休憩シ再ヒ腕車ヲ  
 雇フテ四里越生町ニ達ス、島  
 野伊右衛門及浅見・新井其他  
 ノ諸氏来リ迎フ午後七時過越  
 生町島野伊右衛門ノ家(※現  
 金子家住宅(国登録有形文化財))  
 ニ投宿ス、夜越生銀行員等来  
 リテ商工業ノ事ヲ談シ、揮毫  
 ヲ乞ハル、依テ数紙ヲ試ム、  
 午前一時過寝二就ク

(同年)六月廿五日 曇

午前七時越生ヲ発シ、腕車ヲ  
 僦テ黒山ニ抵ル、雨後ノ道路、  
 殊ニ山間狭隘ニシテ頗ル險惡  
 ナリ、午前九時黒山村平九郎  
 戦役ノ地ニ達ス、寺院ニ於テ  
 仏事ヲ営ム、村人来リ会スル  
 者三・四十人許リナリ、且平  
 九郎戦役当時ノ状況ヲ知ル者  
 来リテ其詳細ヲ話説ス、頗ル  
 明亮ニシテ且確實ト認ムルモ



明治45年(1912)4月14日 全洞院(黒山)での渋沢栄一一行

ノ多シ、僧侶ノ読経畢テ一同  
 靈壇ニ向テ香ヲ炷ス、仏事畢  
 テ、再ヒ腕車ニテ越生ニ抵リ  
 テ午餐シ、直ニ車ヲ馳テ午後  
 三時川越ニ抵リ、川越鉄道線  
 ノ列車ニ搭シ、国分寺ニ抵リ  
 テ更ニ甲武鉄道線ニ移リ、午  
 後六時過兜町ニ帰宅ス(下略)  
 (明治45年)四月十四日 晴暖  
 午前六時前起床、直ニ朝食ヲ  
 食ス、此日八越生町ニ開催セ  
 ル各銀行ノ集会ニ出席スル為  
 メ、七時王子発ノ汽車ニテ九  
 時川越ニ抵リ、夫ヨリ人車(※  
 人力車)ニテ十二時越生町ニ  
 抵ル、地方人士多ク来リ迎フ、  
 着後先ツ越生銀行ノ二階二小  
 憩シ、午喰後同地ノ小学校ニ  
 於テ一場ノ演説ヲ為ス来会者  
 堂ニ滿ツ、畢テ黒山ニ抵ル、  
 地方人多ク同行ス、黒山ニ抵  
 リ、寺院ニ休息シ平九郎ノ遺  
 跡ヲ探リ、五時越生ニ帰ル、  
 一旅亭ニ開催スル歓迎会ニ出  
 席ス、来会者凡式百名斗リ頗  
 ル盛会ナリ、席上一場ノ挨拶  
 ヲ為ス、畢テ樋口某(※樋口吉  
 平)ノ家ニ二宿ス、夜地方人多  
 ク来リ話ス、越生銀行頭取等  
 終始附随シテ歓待ニ尽力セリ  
 (※この日、黒岩の横田左兵衛に扇  
 子を贈ったのでしよう)——了——

## おごせ 昆虫と自然の館 通信 No.66

梅林の中を飛ぶ地味な蝶  
ヒメウラナミジャノメ

「チヨウ目タテハチヨウ科」

春から秋にかけて梅林の下  
 草の上をゆつくりと飛ぶ、小  
 型の黒っぽい蝶が沢山見られ  
 ます。ジャノメチヨウ科の  
 ヒメウラナミジャノメです◆  
 翅の色は、表が一樣に褐色で  
 前翅に蛇の目模様(眼状紋)  
 が1個、後翅に2個あります。  
 裏面は全体に白と褐色の波状  
 紋(さざ波状)で前翅に1個、  
 後翅に5〜6個の眼状紋があ  
 ります。この眼状紋は体から  
 離れており、鳥につつかせて  
 逃げるためと考えられています  
 ◆ヒメウラナミジャノメは  
 4月中頃に現れ、9月下旬ま  
 で見られます。北海道から本  
 州、四国、九州に分布し、関  
 東平坦部では最も普通の種類  
 で、樹林内やその周辺をはじめ  
 山地の草原などにも現れま  
 す。北海道のものは本州など



静止するヒメウラナミジャノメ

のものと比べ色が淡く裏面が  
 白っぽくなります。後翅の眼  
 状紋の数は個体により異なり、  
 種の多様性を知ることができ  
 ます。幼虫はチヂミザサ、ス  
 スキ、チガヤなどイネ科の植  
 物を食べます。越冬は終令幼  
 虫で落ち葉などの間で冬を越  
 します◆同じ仲間の後翅裏面  
 の眼状紋が3個のウラナミジ  
 ヤノメという蝶がいます。こ  
 の蝶は神奈川県西部から四国、  
 九州(屋久島含む)まで分布し、  
 生息地が局所的なため、各地  
 で絶滅が危惧されています。  
 ヒメウラナミジャノメには、  
 いつまでも普通の種類であっ  
 て欲しいと思っています。  
 (阿部 功)